

＜株式会社エフエム東京 第 523 回放送番組審議会＞

1. 開催年月日：令和 7 年 11 月 11 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（6 名）

ロバート キャンベル委員長	佐々木 俊 尚 委員
松 田 紀 子 委員	山 口 真 由 委員
柴 崎 友 香 委員	福 里 真 一 委員

◇欠席委員（0 名）

◇社側出席者（6 名）

唐島 夏生	代表取締役社長執行役員
内藤 博志	取締役執行役員コンテンツ事業局長
宮野 潤一	執行役員編成制作局長
砂井 博文	編成制作局制作部長
蘭 有紀子	編成制作局編成部長
藤村 裕紀	編成制作局制作部プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 宮野放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴 （180 分）

特別番組『FM FESTIVAL 2025

桑田佳祐スペシャル企画!! 九段下フォーク・フェスティバル' 25』

2025 年 11 月 3 日（月・祝）16:00～19:00 TOKYO FM/JFN38 局ネット

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■TOKYO FM 開局 55 周年×「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送 30 周年
九段下フォーク・フェスティバル'25

TOKYO FM 開局 55 周年と、「桑田佳祐のやさしい夜遊び」の放送 30 周年を記念して、桑田佳祐発案による一夜限りのスペシャルイベント『TOKYO FM 開局 55 周年×「桑田佳祐のやさしい夜遊び」放送 30 周年 九段下フォーク・フェスティバル'25』を 10 月 12 日(日)に日本武道館で開催しました。“出演・桑田佳祐 他ゲストあり”とだけ発表されていた中で迎えた公演当日...「ラジオでは大したゲストは来ないよみたいなことを散々申し上げたんですけど、全部うそです！」とステージで撤回し、いざその幕が開けると...あいみょん、桜井和寿

(Mr.Children)、原 由子、吉井和哉 (THE YELLOW MONKEY)、竹内まりや...といったシークレットゲストが次から次にサプライズ登場。5 組との夢の競演で数々の名曲を披露し、一夜限りの豪華共演ステージを繰り広げました。アンコールでは、豪華ゲストが再登場してフォークの原点ともいえるママス&パパスの「夢のカリフォルニア」を全員で熱唱。桑田の呼びかけに集結した伝説アーティストのフォークフェスに、満員となる 9,000 人の観客が熱狂しました。

また、本公演の様子は、11 月 3 日 (月・祝) 16 時～19 時、JFN 全国 38 局ネットの特別番組『FM FESTIVAL 2025 桑田佳祐スペシャル企画!! 九段下フォーク・フェスティバル'25』として放送致しました。



▲出演者全員



▲桑田佳祐



▲左から：あいみょん、桑田佳祐



▲左から：桜井和寿 (Mr.Children)、桑田佳祐



▲左から：吉井和哉（THE YELLOW MONKEY）、桑田佳祐



▲左から：原 由子、竹内まりや、桑田佳祐

■ TOKYO FM リスナー感謝祭 in 渋谷音楽祭 2025 開催

10月19日(日)、『TOKYO FM リスナー感謝祭 in 渋谷音楽祭 2025』を LINE CUBE SHIBUYA をはじめとした渋谷の街にて開催いたしました。TOKYO FM から年に一度、リスナーの皆さんへ日頃のご愛聴の感謝の気持ちを込めて、2023年にスタートした本イベントも今年で3回目となりました。

LINE CUBE SHIBUYA では2部構成で開催。パート1は14時開演、券売ライブイベント『TOKYO FM LIVE』。若者を中心に支持を得る新鋭のアーティスト陣、超学生、AKASAKI、こっちのけんと、きんときが出演しました。

パート2は20時開演『ワイド番組パーソナリティ大集合スペシャル！』を公開生放送で実施。ユージ、吉田明世、住吉美紀、LOVE、山崎怜奈、山本里菜、中川絵美里、マンボウやしろ、浜崎美保 の計9名が出演して今回は朗読劇に挑戦。タイトルは「稲垣吾郎を取り戻せ」。それぞれのパーソナリティが“本人役”を務め、『THE TRAD』番組宛に届いた 稲垣吾郎誘拐犯からのメッセージを元に、吾郎店長を取り戻すための指令をこなしていくというストーリーを演じました。

そのほか、MIYASHITA PARK ではラジオブースに見立てた特設ステージで TOKYO FM アナウンサーによるトークイベントのほか、Shibuya Sakura Stage では4番組の公開収録も実施しました。各会場、満員御礼&大盛況で 幕を閉じました。



▲TOKYO FM LIVE 出演者



▲ワイド番組パーソナリティ大集合スペシャル 集合写真

議題 2：番組視聴

【番組名】

特別番組『FM FESTIVAL 2025

桑田佳祐スペシャル企画!! 九段下フォーク・フェスティバル' 25』

2025 年 11 月 3 日（月・祝）16:00～19:00 TOKYO FM/JFN38 局ネット

【番組概要】

今回ご試聴頂くのは、11 月 3 日、文化の日に TOKYO FM をはじめとする JFN 全国 38 局ネットで放送した特別番組『FM FESTIVAL 2025 桑田佳祐スペシャル企画!! 九段下フォーク・フェスティバル' 25』。番組進行は住吉美紀、生放送でお送りしました。

全国 FM 放送協議会（JFN）に加盟する全国 38 の FM ラジオ局が毎年ひとつになって文化の日に実施している大型特別番組『FM FESTIVAL』。1972 年スタート当初から毎年さまざまなテーマにもとづいた特番を放送してきました。

今年度は、10 月 12 日（日）に、TOKYO FM 開局 55 周年と「桑田佳祐のやさしい夜遊び」の放送 30 周年を記念して、日本武道館で開催した『九段下フォーク・フェスティバル' 25』の模様を特別番組として“全曲”をオンエアしました。番組では、ライブ直後のゲストたちの楽屋コメントもオンエア。当日まで一切ゲスト情報も出さずに開催した本イベント、終演後から大きな反響と、特別番組でのオンエアが渴望されたこともあり、番組開始から終了まで、radiko ライブ配信において、関東エリアの 1 都 6 県 16 局中同時時間帯首位を継続。番組終了直前にあたる 18 時 52 分には瞬間最高シェア 50.29%も記録しました。

SET LIST

前座 深川のアッコちゃん／田内海也

- | | |
|--|--|
| 1 今日までそして明日から／吉田拓郎（桑田佳祐） | 14 花咲く旅路／原由子（原由子、桑田佳祐） |
| 2 明日へのマーチ／桑田佳祐（桑田佳祐） | 15 風に吹かれて（日本語バージョン）／Bob Dylan（桑田佳祐、原由子） |
| 3 君はロックを聴かない／あいみょん（あいみょん、桑田佳祐） | 16 ヨイトマケの唄／美輪明宏（桑田佳祐） |
| 4 悲しみは雪のように／浜田省吾（あいみょん、桑田佳祐） | 17 太陽が燃えている／THE YELLOW MONKEY（吉井和哉、桑田佳祐） |
| 5 偽者／あいみょん（あいみょん、桑田佳祐） | 18 東京／桑田佳祐（吉井和哉、桑田佳祐） |
| 6 白い色は恋人の色／ベッツィ&クリス（桑田佳祐、あいみょん） | 19 みらいのうた／吉井和哉（吉井和哉、桑田佳祐） |
| 7 SEA SIDE WOMAN BLUES／サザンオールスターズ（桑田佳祐） | 20 悲しくてやりきれない／ザ・フォーク・クルセダーズ（桜井和寿、桑田佳祐） |
| 8 ケンとメリー～愛と風のように～／BUZZ（桜井和寿、桑田佳祐） | 21 あの素晴らしい愛をもう一度／加藤和彦、北山 修（桜井和寿、吉井和哉、桑田佳祐） |
| 9 HANABI／Mr.Children（桜井和寿、桑田佳祐） | 22 なごり雪／イルカ（あいみょん、桑田佳祐） |
| 10 慕情／サザンオールスターズ（桜井和寿、桑田佳祐） | 23 元気を出して／竹内まりや（竹内まりや、桑田佳祐） |
| 11 奇跡の地球（ほし）／桑田佳祐&Mr.Children（桜井和寿、桑田佳祐） | 24 Two Of Us／The Beatles（竹内まりや、桑田佳祐） |
| 12 夜空の星／加山雄三（桑田佳祐） | 25 涙のキス／サザンオールスターズ（竹内まりや、桑田佳祐） |
| 13 いちよう並木のセレナーデ／原由子（原由子、桑田佳祐） | 26 静かな伝説（レジェンド）／竹内まりや（竹内まりや、桑田佳祐、原由子） |

ENCORE

- California Dreaming（夢のカリフォルニア）／ママス&パパス（全出演者）
- 今日の日はさようなら／森山良子（全出演者）
- 祭りのあと（桑田佳祐）

【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側意見）

○番組云々の前に、まずこの企画を実現したことがすごい。その上、全 30 曲が無料で聴ける放送は本当にすごいと思う。これ以上はもう感想でしかないが、「奇跡の地球」をライブで歌ったということ、その上ちょっとモノマネっぽく歌っている気もして、すごいし面白いし。あいみよんの「なごり雪」は本家を超えているかなと思うほど感動し、浜田省吾は浜田省吾の方がいいのかな、というか、とにかくどれも素晴らしく、ただ感想しか出てこないというのが素直なところ。

○桑田氏の「酔いどれの歌」はやはり格別で、竹内まりや氏の「涙のキッス」も独特の歌い方でこれも驚きを隠せない。放送では MC は少し省略されている所があったが、逆にライブ後のコメントが追加されていて、ライブ中にあいみよんが桑田氏の歌を歌わないのが気になっていたので、コメントでそのことが聴けて、ライブ後のコメントが入ったのは良かったと思った。

○MC の中で癌サバイバーの話とかもされていて、すごく微妙な話題だと思うが、桑田氏本人が「ここでそれを語ってもいい」と思ったのだなと感じた。演奏曲もそうだが、放送 OK にした背景には、「ラジオさんありがとう」言葉にも表れていたが、ラジオへの思いもあったのだろう。

○180 分の番組と聞いていたが全く長く感じなかった。少し話が変わるが、先月オアシスのドームライブに行ったが、みんなが大合唱していて、とにかく圧倒された。ロックはあまりみんなが歌うものではなかったのを、サッカースタジアムのアンセムのようにみんなが歌える曲の文化を作ったのが、オアシスが突出して人気になった理由だ、というのを聞いて、またそれをライブで目の当たりにしてとても納得した。今回の番組を聴いて、人と人を繋いでいくパワーがあると感じた。世代や細かい好みを超えて、流れてくる曲、流れてくる曲を恐らく全員が歌えて、それぞれの選曲、桑田氏の人柄、ゲストで来られたアーティストたちとの関係性が垣間見られて、ラジオと音楽の力を強く感じるイベントであり特別番組だった。

○ライブも観覧したが、ライブ音源が綺麗に放送で再現されていたのが本当に素晴らしく、また関係者の技術の高さと、きっとあったであろうご苦勞に敬意を表したい。本当に気絶しそうなくらい奇跡のラインナップだった。放送では、ライブ後のコメントが聴けたことが、裏話的で一度ライブを観た後でも新鮮に感じられた。

○原 由子氏が、退出する時に「また後で」と桑田氏が声をかけていて、これが何とも夫婦的で、そういう少しプライベートが垣間見えるような瞬間があり、こちら

まで幸せな気分になった。桑田佳祐氏という音楽界の宝のような人を慕ってくるアーティストたちとのファミリー感を決して内輪ノリではなく、会場やラジオを聴いている人に惜しみなく共有していて、これが桑田氏のサービス精神なのだろうととても感動した。最後まで夢のような時間だった。

○1 つあえて言うなら、タイトルにフォーク・フェスティバルとついていながら、言うほどフォークじゃなかったなど。ただ、それも結局はどうでも良くなるほど素晴らしかったと思う。

○昭和中世期くらいの方は涙がちぎれるようなラインナップだったと思うが、今の Z 世代が聴いても心に刺さったのではないかなと思う。10 年位前からシティポップブームもあって、最近は更に広がってシティポップだけじゃなくてフォークだったりとか、あるいは歌謡曲だったり、結構日本の古い文化があちこちで発掘されるみたいなことが起きてきていて。結果として今の若いバンドにいつの時代なのかというようなバンドが増えてきている。象徴的なのは、今 30 歳のあいみょんがこの中に混じって歌っても何の違和感も感じない。単なる懐メロではなく、2025 年の現在地の日本のポップスと重なる部分があると思う。欲をいえばあいみょんだけでなく、もっと若手のミュージシャンといかに混ざり合うかを聴いてみたかった。

○とても聴き心地のよいライブで、音質の調整など、放送までにたくさんの努力があったように思う。ライブ後のコメントは、生き生きとした臨場感は伝わってくるが、少し物足りない感じがして、少し時間をおいてからゆっくり語るものの方がいいのかもしれないとも思った。

■コメントに関しては、実はもっと長く録ってはいたが尺の関係上カットしなくてはいけないものも多く、本当はもっと踏み込んで話していた部分もあったが出しきれていないという事情もあった。音源については、放送当日の朝まで調整して届けた部分もあり、SNS でもたくさんの嬉しい感想を頂き、制作側としてもご褒美のような番組となった。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「TOKYO FM Navi」

11 月 30 日（日）5:55～6:00 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>